

地域資源：農林水産物、ジビエ
 事業分野：食品、観光・旅行、教育、情報通信
 事業主体：農林漁業者、ジビエ処理施設、レストラン

○鳥獣害をはじめとした地域課題に立ち向かうため、若手農家が自ら会社を立ち上げ、農業生産を中心に、新商品開発、農作業受託、狩猟活動を実施。ジビエ処理施設やレストランとも協業し、狩猟・ジビエを活用し地域を活性化。

基本情報

- 所在地：和歌山県田辺市
- 選定表彰：
 - ・鳥獣害対策優良活動表彰 農林水産大臣賞 (R4)
 - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
 - ・第52回日本農業賞 食の架け橋部門特別賞 (R4)
- 主力商品・イベント：
 - ・ジビエ、みかんや梅の加工品
 - ・狩猟、収穫体験ツアー

取組の概要

- 地域内のジビエ解体処理施設やジビエ料理店との連携により、捕獲から処理・加工、調理、販売の連続した体制を構築。
- 衛生管理ガイドラインの遵守等に取り組むジビエ処理施設に与えられる「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証」を取得しているほか、個体の引き取りに関するガイドラインを作成し、ジビエの品質維持に努める。
- ICT技術の導入による捕獲活動の効率化、小中学生向けにジビエへの理解を深める食育活動を進めるほか、耕作放棄地を果樹園に再生することにより鳥獣被害の軽減にも貢献。



狩猟体験事業



ジビエを活用したドッグフード



農作業の受託

体制図



取組の成果

- 売上：500万円（創業当初） → 3,800万円（R4）
- 雇用：5名（創業当初） → 12名（R4）
- 交流人口：50人（創業当初） → 400人（R1）
- ジビエ利活用頭数：0頭（H29） → 600頭（R3）

ウェブサイト▶<https://team-hinata.com/>

○400年にわたり高品質な梅を持続的に生産するみなべ・田辺地域は、薪炭林（ウバメガシなどの広葉樹）による水源涵養^{かんよう}や崩落防止等の機能保持、ニホンミツバチの生息環境の提供、高品質な「紀州備長炭」の生産への寄与により、「世界農業遺産」に認定。ワーケーションと結び付けることで、梅収穫期の労働者確保と交流人口の増加を実現。

基本情報

- 所在地：和歌山県みなべ町、田辺市
- 選定表彰：
 - ・平成27年12月世界農業遺産認定
- 主力商品・イベント：
 - ・南高梅、紀州備長炭
 - ・梅まつり・観梅（2月）
 - ・梅収穫ワーケーション（5～7月）
- 活用した支援施策：
 - ・みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会
運営活動費 地方創生推進交付金（内閣府）

取組の概要

- 「農業遺産」と「ワーケーション」を結びつけた「梅収穫ワーケーション」をみなべ町にて実施^{※1} ^{※2}。
- 梅収穫時期に都市部からワーケターを募り^{※3}、仕事の合間に梅農家の作業を手伝ってもらうことで、農家の作業負担が軽減されるとともに、都市部の人々との新たな交流にも貢献。
- SNS上でワーケーションの周知、応募フォームの掲載、参加者への説明会・意見交換会を実施。ワーケターの滞在期間及び作業時間に合わせて梅農家とマッチング。

※1 運営主体：R4年度 Team WAAI、
R5年度（一社）日本ウェルビーイング推進協議会 世界農業遺産活性化プロジェクト

※2 旅費・宿泊費などは参加者負担

※3 R4年度は1か月間（6月）、R5年度は3か月間（5～7月）

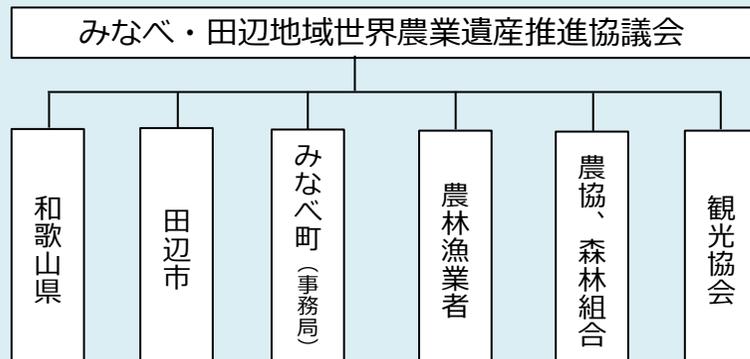


南高梅



梅収穫ワーケーション

体制図



取組の成果

- ワーケーション参加人数：のべ240人、11軒の農家が受け入れ（R4）
- 梅収穫の総活動時間：1,356時間
（時給1,500円換算で約200万円の人件費削減）
- 梅収穫ワーケーションから学ぶ講演会を開催
- ワーケーション開催期間の拡大：1か月(6月)（R4）→3か月(5～7月)（R5）

ウェブサイト▶<https://www.giahs-minabetanabe.jp/>

一般財団法人 境港市農業公社

地域資源：和綿「伯州綿」、栽培サポーター
事業分野：地域活性化、加工・販売等
事業主体：市、市農業公社

- 遊休農地解消対策として、栽培サポーター（住民ボランティア）制度を導入し、伝統的地域資源（伯州綿）を栽培。
- 収穫した伯州綿を新生児や高齢者向けの製品に加工、市のお祝品とするとともに、体験学習やイベントなどを実施。

基本情報

- 所在地：鳥取県境港市
- 選定表彰：
 - ・第27回「ふるさとイベント大賞」ふるさとキラリ賞（R5）『てぬぐいひらひら』
- 主力商品・イベント：
 - ・新生児向け「伯州綿おくるみ」
 - ・高齢者向け「伯州綿ひざかけ」
 - ・「境港手拭」
 - ・「てぬぐいひらひら」（毎年秋イベント）
 - ・親子を対象とした種まき体験、収穫体験
- 活用した支援施策：
 - ・国の緊急雇用創出事業（H21～H26）

取組の概要

- 遊休農地解消にむけ伝統的地域資源である和綿「伯州綿」の継承のため栽培を再開し、地元住民による栽培サポーター制度を導入。
- 収穫した綿を加工して商品開発。「おくるみ」「ひざかけ」は市に販売し、新生児や高齢者へのお祝い品として活用。
- 小学生の体験学習、てぬぐいイベントや収穫体験等を開催し、認知度向上と交流人口の増加につなげている。



伯州綿種まき参加者

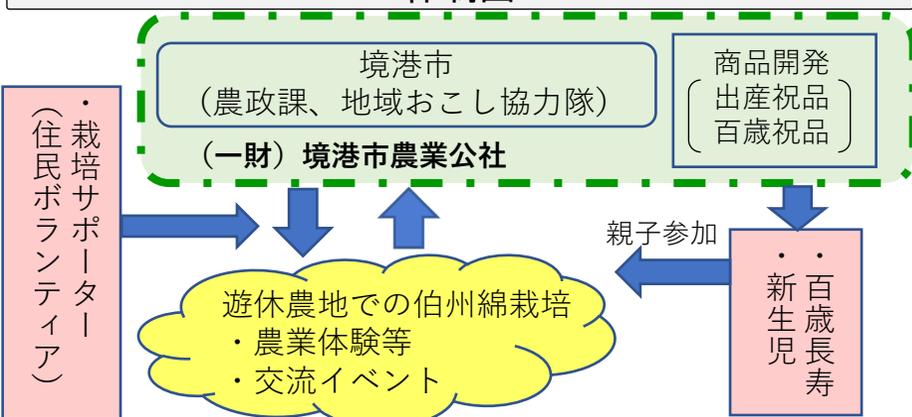


「てぬぐいひらひら」の会場



伯州綿100%のおくるみ

体制図



取組の成果

- 伯州綿栽培面積：1.2ha、収量：約750kg（R4）
- 栽培サポーター：46組136人（R4）
- 境港市の地域おこし協力隊が卒業後に1名定住
- 毎年秋のイベント（てぬぐいひらひら）には1000人以上の来場者。
- 複数の民間企業による商品開発や販路開拓によるブランド化

ウェブサイト▶ <http://hakushu-cotton-sakaiminato.jp/>

- 中山間地域の農作業・農地保全・祭り補助などに大学生ボランティアを20年以上継続して派遣。
- 大学生が主軸となった、数々の地域活性化プロジェクトを実施し、起業・就農・定住に向けた支援に取り組む。

基本情報

- 所在地：鳥取県鳥取市
- 選定表彰：
 - ・オーライ!ニッポン大賞 (H20)
 - ・食と農林漁業大学生アワード農林水産大臣賞 (H28、H30、R2)
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞 (R4)
 - ・ふるさとづくり大賞 (R4) 団体賞
- 主な取組み：
 - ・田舎戦隊三徳レンジャー (米の生産販売)
 - ・農村16キップ (農山村ボランティア派遣)
 - ・鳥取シゴト留学 (外部人材活用) など
- 連携した施策：
 - ・鳥取県農山村ボランティア事務局事業

取組の概要

- 鳥取大学農学部生を中心とした大学生農業ボランティアを平成14年以降継続して派遣。
- 地域活動のプロジェクトとして、「農村16きっぷ」(ボランティア、交流企画、製品の加工販売)、「田舎戦隊三徳レンジャー」(米の生産販売)など運営。
- 銀行と業務提携した地域おこし協力隊体制整備
- 複業人材や大学生インターンシップなど民間企業とのプロジェクトへ展開



草刈り作業の様子

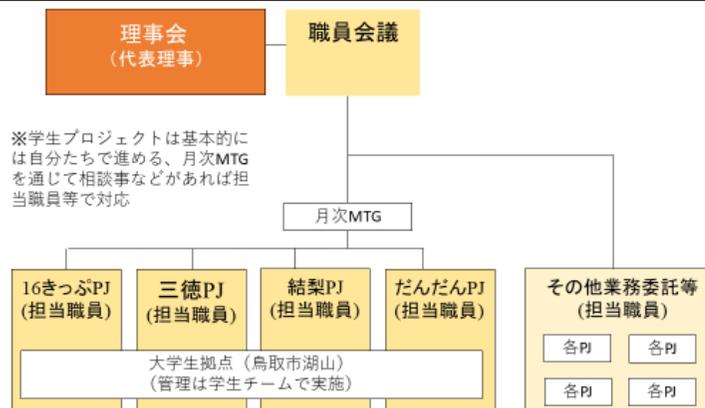


いのしし電気柵の設置



地域住民との交流

体制図



取組の成果

- 農村ボランティア派遣回数：77回 (R3)
- 農村ボランティア派遣人数：408人 (R3)
※令和2年度よりコロナ対応で受入地域減少
- Iターン者：延べ人数41人 (経験者のうち鳥取に残った県外者の数)
- 就農している卒業生：9人 (うち2名は農業委員を務める)

ウェブサイト▶ <https://www.bankup.jp/>

- 空き家、耕作放棄地を地域資源と捉え、移住者支援、果樹の里山作り、新規出店支援等を実施するほか、まちなみを活かしたイベント開催や軒下演出など景観づくりや文化継承に貢献。企業人材研修「ことらぼ」にも取り組む。

基本情報

- 所在地：鳥取県鳥取市
- 選定表彰：
 - ・第11回 全国建築士会連合会「まちづくり優秀賞」(R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・すけ笠御膳 ・いちじくジャム
 - ・空き家・空き店舗等を活用した「週末だけのまちのみせ」 ・虚無僧行脚
 - ・果樹の里山まつり ・「しかの宿」
 - ・まちづくり合宿 ・ことらぼ@鹿野
- 活用した支援施策：
 - ・「農」ある暮らし事業 (H25～26)
 - ・国土交通省「空き家対策モデル事業」(R5)
 - ・鳥取県「公民連携事業」(R5)

取組の概要

- 鳥取市より「移住定住空き家運営業務」を受託し、空き家バンクの運営、相談等実施。
- 「週末だけのまちのみせ」、「こむろそうあんぎゃ虚無僧行脚」等地域に似合うイベントの企画運営や藍染め暖簾や屋号瓦等による街並み演出に取り組む。
- 果樹の里山協議会と連携し、耕作放棄地を活用した「果樹の里山」プロジェクトに取り組み、「いちじくジャム」など商品開発、フットパス、果樹の里山まつり等を実施。
- 大学と連携し、里山体験プログラム「鹿野ちゃれっじ」を作成。
- 空き家を食事処「夢こみち」として、地域食材を使った「すげ笠御膳」を提供。
- 空き家を活用し「しかの宿本田中家」、アートの拠点「クチュールシカノ」運営。
- 日本能率協会マネジメント、鳥取市と協力し、県外に本社を置く企業と地域団体等が協働して地域課題解決に取り組む、企業人材研修「ことらぼ」開発。



鹿野ちゃれっじ



いちじくジャム



すげ笠御膳



クチュールシカノ



ことらぼ@鹿野

体制図



取組の成果

- 移住・定住 : 62世帯、125人 (2013～2023累計)
- 空き家活用 : 12件 (2013) → 44件 (2023)
- 空き家の新たなお店活用 : 8件 (2019～2023累計)
- 果樹の里山まつり参加者 : 約900人 (2019～2023累計)
- 視察受入 : 2,686人 (2013～2023累計)

ウェブサイト▶ <https://www.shikano.org/>

- 障害者就労継続支援事業所による引退競走馬を利用した観光牧場を設立。流鏝馬神事など地域の伝統行事も継承。
- 馬糞堆肥を活用した循環型農業を実施し、様々な障害者の仕事作りや地産地消を推進。

基本情報

- 所在地：島根県益田市
- 選定表彰：
 - ・ノウクアワード2021 チャレンジ賞
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定 (R4)
- 主力商品・イベント：
 - ・引退競走馬を活用した観光牧場・馬事文化継承
 - ・馬糞堆肥を活用した農産品及び加工品
- 活用した支援施策：
 - ・公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会「多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業」(H30～)
 - ・令和3年益田市商品開発・販路開拓等支援事業補助金

取組の概要

- 老朽化により存続が困難になっていた市営馬事公苑を再興し、障害者の就労、競走引退馬のキャリアを活かす観光牧場を設立。
- 競走引退馬を4頭飼養し、来客者のセラピーの役割や流鏝馬神事など地域の馬事文化の継承、日本遺産観光プログラム等の活動に参加。
- 飼育馬の馬糞堆肥を活用し、循環型農業による「農・商・福連携事業」を推進。



親子連れで賑わう観光牧場

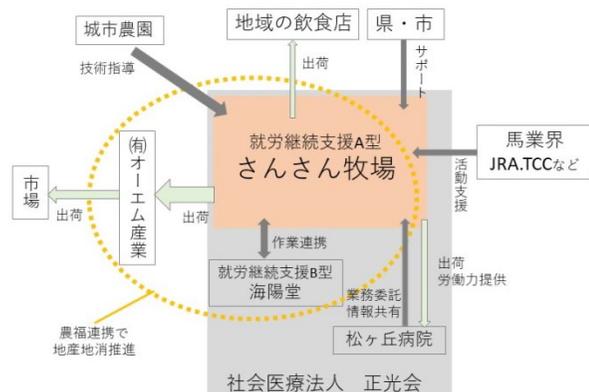


伝統の継承に貢献



馬糞堆肥を活用した農業

体制図



取組の成果

- 売上高：104万円 (H30) → 2,337万円 (R3)
- 障害者雇用：5人 (H30) → 17人 (R3)
- 来客数：550人 (H30) → 13,280人 (R3)
- 馬頭数：5頭 (H30) → 10頭 (R3)

ウェブサイト ▶ <https://sansanfarm.jp>